

施工説明書

ご使用の前にこの施工説明書をよく読み、正しく施工してください。また施工前に製品の外観に異常がないか、付属品が正しく入っているか確認してください。（この製品は、放送法等の法規が適用されます。）

当社の定める施工説明を逸脱しない方法で据付工事を行い不具合（瑕疵）が生じ、施工者が無償修理や損害賠償を行なった場合、BLマーク証紙の貼付（又は刻印等）がされている部品については、一般財団法人 ベターリビングのBL保険制度に基づき保険金が支給されます。

- BLマーク証紙の貼付（又は刻印等）がされている部品については、万一、当社又は設置工事施工者による瑕疵保障責任等が行えない場合、これに代わる措置が同財団から受けられます。
- BL保険制度については、同財団のホームページ（http://www.cbl.or.jp/）をご覧ください。
- なお、BL保険制度に関する質問は、同財団（Tel 03-5211-0680）でもお受け致します。

設置上のご注意

- 次のような場所に設置しないでください。
- 送配電線、ネオンサイン、架線や電話線の近く
 - 強度の弱い場所や地盤の弱い場所、ぐらついたり振動する場所
 - 人や車両の通行の妨げになる場所
 - 煙突の付近や、高温になる場所
- 組み立てや取り付けのネジやボルトは、指定の締付トルクで締め付け、固定してください。

使用部品

- 4K・8K放送(3224MHz)に対応したS-5C-FBまたはS-7C-FBの同軸ケーブルをご使用ください。
- 接栓は、使用する同軸ケーブルに適したC15形のF形接栓または同等以上の性能を有するコネクタをご使用ください。

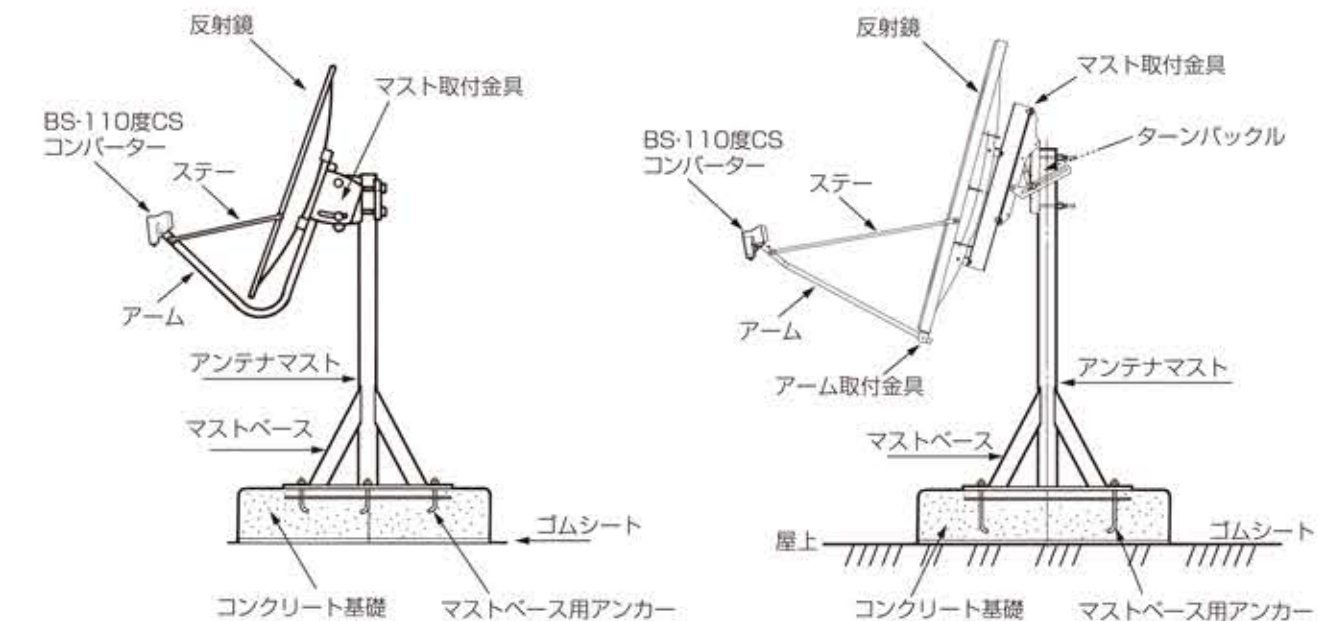
設置例

ご注意

- アンテナマストは垂直に立ててください。
- 屋上などに設置する場合は、強度・安全確保や防水処理が必要ですので、専門業者へご相談ください。

■ SHA751

■ SHA901



5

施工説明書

取付方法

アンテナマストは垂直に設置されていることを確認してください。マスト取付金具は直径48.6mm～90.0mmのアンテナマストに取り付けることができます。

■ SHA751

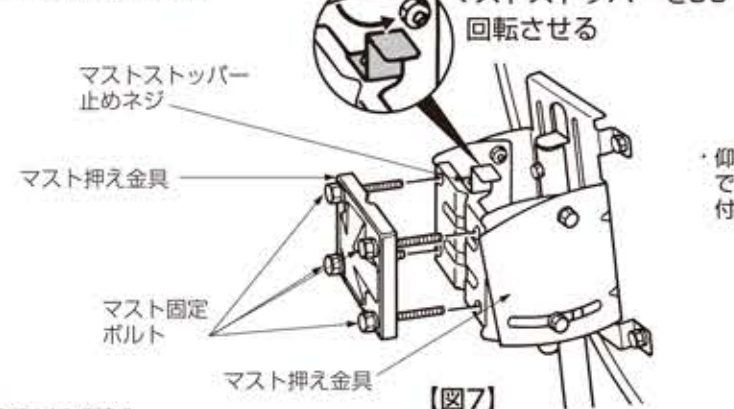
＜アンテナマストの先端に取り付ける場合＞

アンテナマストがマストストッパーに当たるまで差し込み、マスト固定ボルトを左右均等に締めて仮止めます。（図6参照）
（最終的な固定はアンテナを最良の受信方向に調整した後行います。）

＜アンテナマストの中間に取り付ける場合＞

- マストストッパーの止めネジを緩めます。（図7参照）
- マストストッパーをアンテナマストが当たらない位置まで回転させ、止めネジを締め付け固定します。
※地域によっては、中間取付ができませんので、ご注意ください。
- マスト固定ボルトを緩め、必要に応じてマスト押え金具をはずします。（図7参照）
- アンテナマストをマスト取付金具とマスト押え金具ではさみ、マスト固定ボルトで左右均等に締めて仮止めます。（最終的な固定はアンテナを最良の受信方向に調整した後行います。）（図8参照）

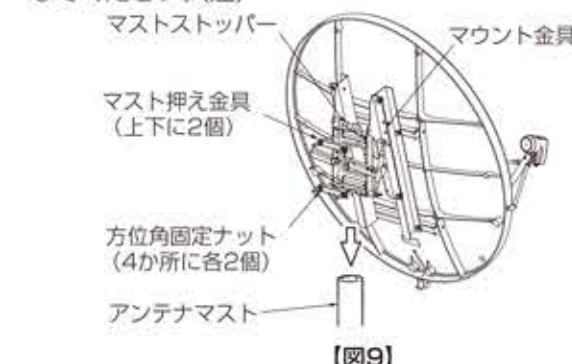
＜中間取付の場合＞



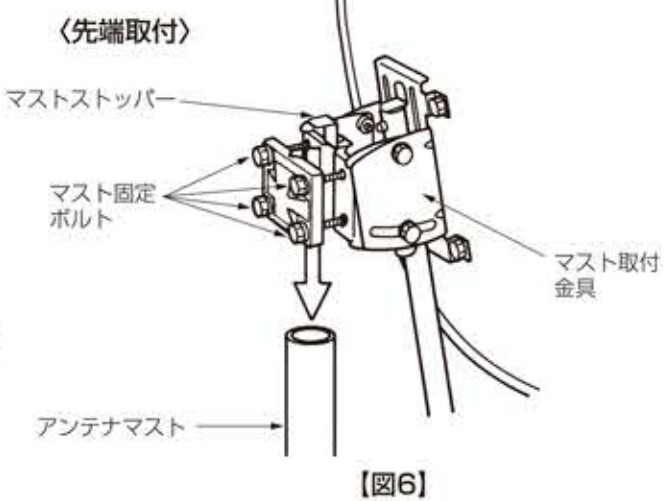
■ SHA901

＜アンテナマストの先端に取り付ける場合＞

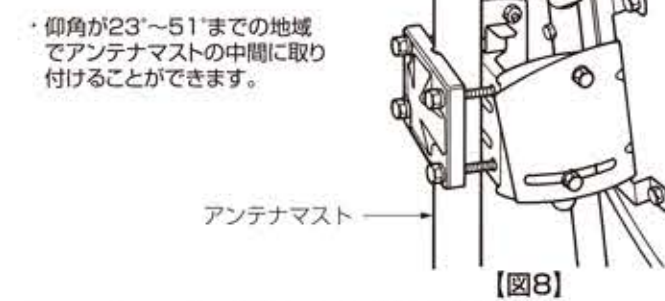
- マスト押え金具（上下2個）とマウント金具本体の間にアンテナマストが入るよう方位角固定ナット4個を十分緩めてください。（図9参照）
- アンテナマストをマストストッパーに当たるまで差し込み、方位角固定ナット4個を左右均等に締めて仮止めてください。（注）



（最終的な固定はアンテナを最良の受信方向に調整した後におこないます。）



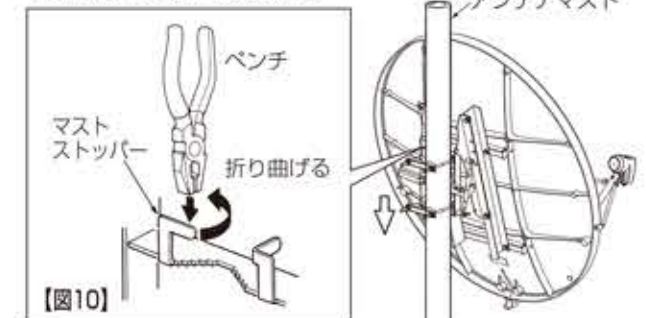
【図6】



【図8】

＜アンテナマストの中間に取り付ける場合＞

- ※地域によっては、中間取付ができませんのでご注意ください。
- ①マストストッパーを図のように折り曲げます。（図10参照）
- ②方位角固定ボルトを緩めアンテナマストを差し込みます。
- ③アンテナマストをマウントとマスト押え金具ではさみ、方位角固定ナットで仮止めます。



【図10】

・仰角が25°～55°までの地域でアンテナマストの中間に取り付けることができます。

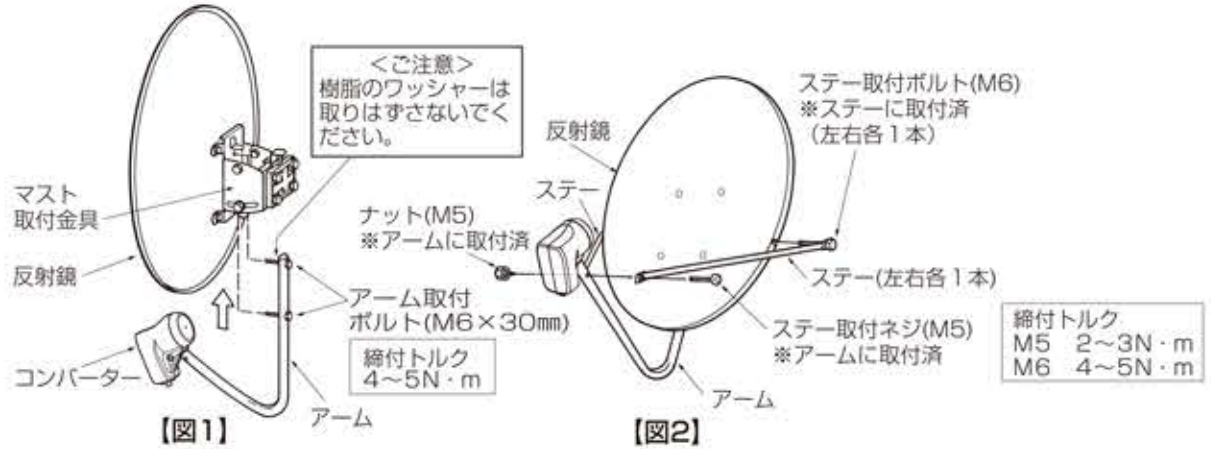
施工説明書

組立方法

■ SHA751

＜アームとステーの組立て＞

- ①反射鏡裏面のマスト取付金具にアームを取り付け、スパナなどを用いて、アーム取付ボルト（M6）を指定トルクで固定してください。（図1参照）
- ②アームを取り付けた後、ステーを取り付けます。このとき、ステーのアーム側をステー取付ネジ（M5）とナット（M5）で仮止めます。（図2参照）
- ③ステーの反射鏡側の取付けボルト（M6）を左右交互に締め付けます。最後にアーム側のステー取付ネジ（M5）を締め付けてください。（アーム側を先に締め込むと組み立てにくくなります。）（図2参照）



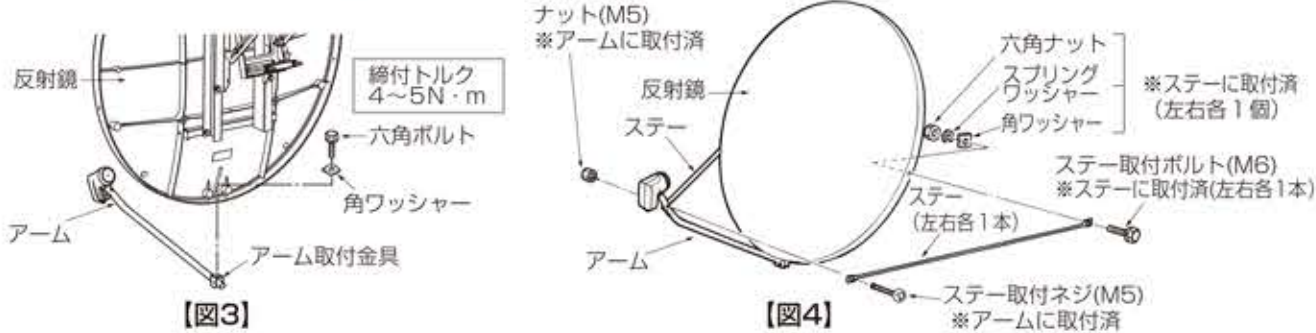
【図1】

【図2】

■ SHA901

＜アームとステーの組立て＞

- ①アームの先端についているアーム取付金具から角ワッシャーと六角ボルトをはずし、反射鏡に仮止めてください（図3参照）
- ②アームを取り付けた後、ステーを取り付けます。ステーのアーム側をステー取付ネジ（M5）とナット（M5）で仮止めます。（図4参照）
- ③ステーの反射鏡側のステー取付ボルト（M6）を左右交互に締め付けます。最後にアーム側のステー取付ネジ（M5）を締め付けてください。（アーム側を先に締め込むと組み立てにくくなります。）



【図3】

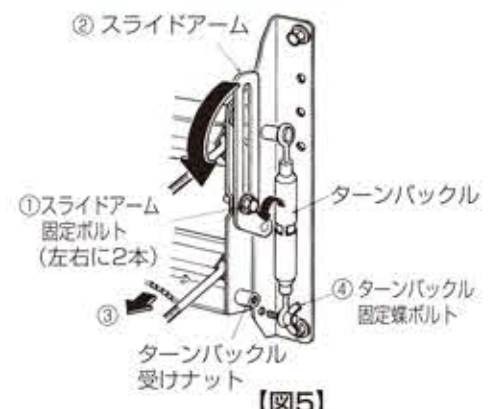
【図4】

■ SHA901のみ

＜マスト取付金具の組立て＞

- ①スライドアーム固定ボルトを、スライドアームの移動がスムーズにできるように左右とも緩めてください。（図5参照）
- ②左右のスライドアームの上端を手前に引いてください。
- ③マスト取付金具本体の下部を手前に引き出してください。
- ④ターンバックル先端のターンバックル固定ボルトをターンバックル受けナットに仮止めてください。

＜マスト取付金具本体＞



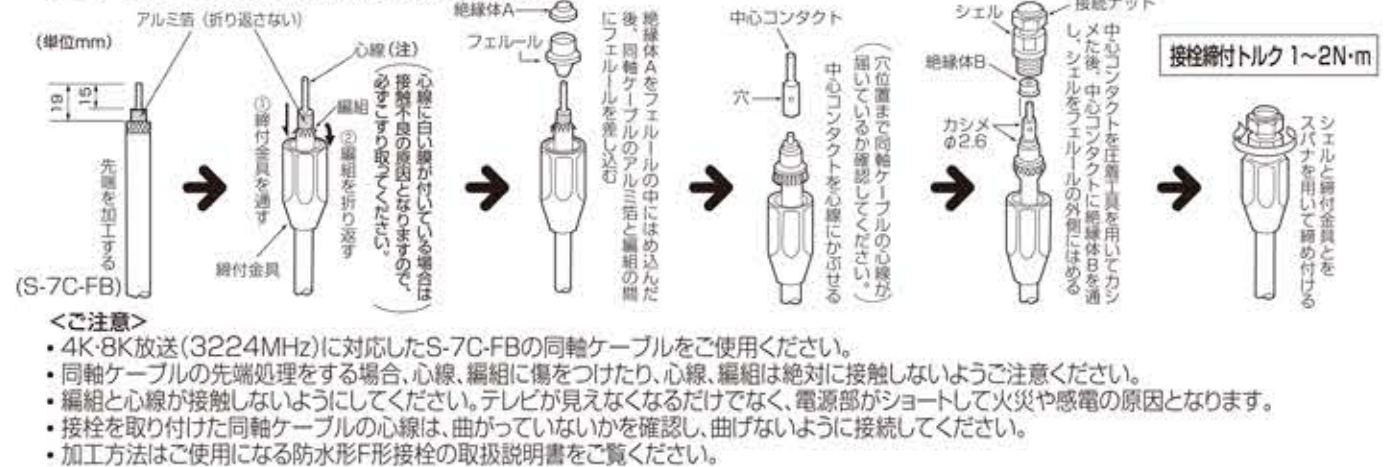
【図5】

施工説明書

同軸ケーブルの接続方法と出力端子への接続

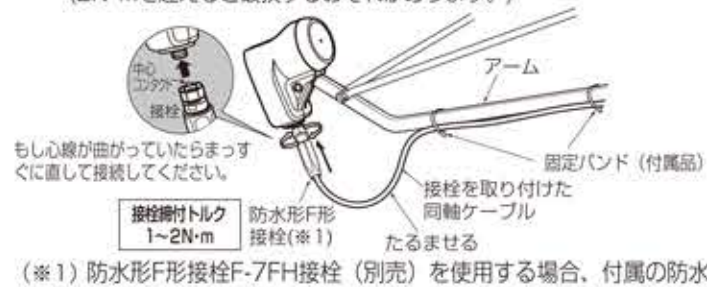
・接栓の種類によって同軸ケーブルとの接続方法が変わります。（接続例はS-7C-FBとS-5C-FBの場合で記載しています。）

＜S-7C-FBと防水形F形接栓の接続例＞



＜出力端子への接続＞

- ①図のようにコンバーターの出力端子に接栓を接続し、スパナなどで1～2N・mで締め付けてください。（2N・mを超えると破損するおそれがあります。）

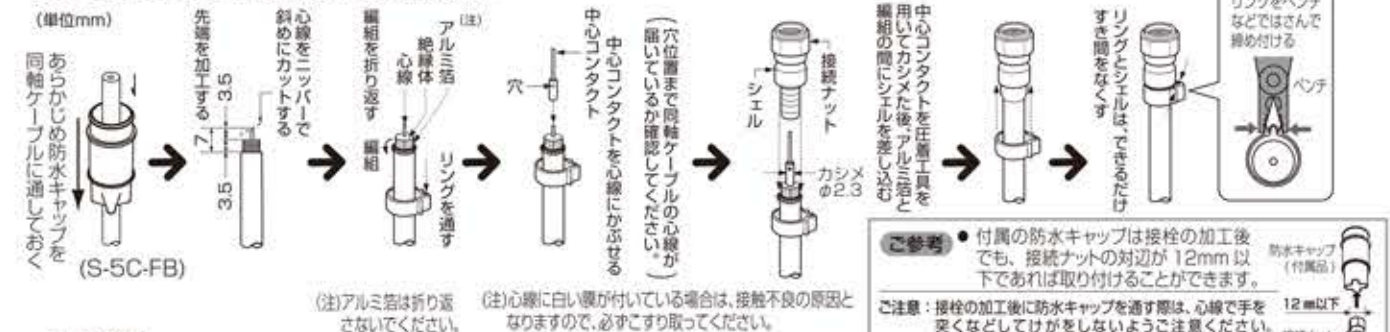


＜防水形F形接栓の防水処理＞

- ②自己融着テープを巻き付けます。
自己融着テープ（市販品）は、長さ1.5倍になるように引張りながら接続ナットの上で巻いてください。巻き終わったら指でおさえて密着してください。
- ③さらにその上にビニルテープ（市販品）をすき間のないように巻き付けます。
ビニルテープ（市販品）

（※1）防水形F形接栓F-7FH接栓（別売）を使用する場合、付属の防水キャップは使用しません。

＜S-5C-FBとF形接栓の接続例＞



＜ご注意＞

- ①4K・8K放送(3224MHz)に対応したS-5C-FBの同軸ケーブルをご使用ください。
- ②同軸ケーブルの先端処理をする場合、心線、編組に傷をつけたり、心線、編組は絶対に接触しないようご注意ください。
- ③編組と心線が接触しないようにしてください。テレビが見えなくなるだけでなく、電源部がショートして火災や感電の原因となります。
- ④接栓を取り付けた同軸ケーブルの心線は、曲がっていないかを確認し、曲がらないように接続してください。
- ⑤加工方法はご使用になる防水形F形接栓の取扱説明書をご覧ください。

＜出力端子への接続＞（付属の防水キャップ使用）

- ①図のようにコンバーターの出力端子に接栓を接続し、スパナなどで1～2N・mで締め付けてください。（2N・mを超えると破損するおそれがあります。）
- ②同軸ケーブルに通しておいた防水キャップをコンバーターの防水キャップ溝に差し込んでください。
- ③防水キャップが曲がったり、変形してはずれないように同軸ケーブルにはゆとりを持たせて付属の固定バンドでアームに固定してください。



禁止
テープで巻かない！

コンバーターや防水キャップにはビニルテープを巻かないでください。雨水がたまって故障の原因となります。

8